

6の1 理科学習指導案

11 / 4 (水) 4限
第1理科室 小網 達也

1 単元名 大地のつくり

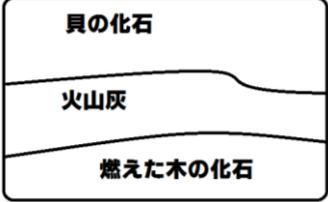
2 本時のねらい

犀川河川敷見学から、流れる水のはたらきによる犀川河床の地層のでき方や広がりを見学し、自分の考えを表現する。

2 本時における学ぶ楽しさ

犀川河川敷見学をもとに、流れる水のはたらきによる地層のでき方や広がりについて推論し、犀川流域の地層の成り立ちについてお互いの考えを深めていく楽しさ。

4 展開

時	学習活動と子どもの姿	学ぶ楽しさを味わうための手だて
5	1. 課題を確認する ＜犀川河川敷の地層はどのようにして出来上がったのか＞	
10	2. 見学を振り返る ○酒寄先生の話の中に犀川河川敷にはどのような地層が含まれていましたか。 ・貝の化石が含まれていた。 ・火山灰や木の化石もあったよ。 ○河川敷のどのあたりにそれらの地層が見られましたか。 ・下流に近い方に貝の化石があった。 ・上流に近い方には木が燃えた化石があった。	(2)不足感や違和感に気づかせるための工夫 見学をした犀川の河川敷は、複数の地層があったことを想起させるために、地層見学に行ったときのことを話し合わせる
15	3. 自分の考えをもつ。 ○もともとのこのあたりの土地の様子が、今の河川敷のような様子になったのか。 ・犀川の水が地層を浸食していったのではないかな。 ・川の流れを考えてみればいいのではないかな。 ・縦方向に削っていったのかな。横の方向かな。	(2)不足感や違和感に気づかせるための工夫 犀川の水がどのように浸食したのかについて疑問をもてるように、元々の土地の様子を図で示す。
10	4. 考えたことを交流し、まとめる。 ・貝の化石も火山灰も木の化石も見られたのだから、横方向に浸食されたことはないだろう。 ・きっと、縦方向かななめ方向に浸食していったのだろう。 ・がけの上の方には、角がとれた丸い形の石もあった。	
<p>・流れる水（犀川）のはたらきによってできた。 ・貝の化石を含む地層、火山灰を含む地層、焼けた木を含む地層が上から順番に積み重なっていると川の水が地層を浸食することによって、現在の犀川の河川敷の地層が出来上がった。</p>		
5	5. 次時の学習内容を確認する ○粒の大きさによって地層のでき方に違いはあるのだろうか。 ・大きい粒の方が上に積もるのではないかな。 ・大きい粒から順番に上へ積もっていくのではないかな。	(1)自然の事物・現象への出合わせ方の工夫 次時の学習の見通しをもてるように、犀川の上流と下流の川の様子を見せる。

